

寒川村にて、出流澤の流れと落合ひ、末は佐野、中川と、もに利根川に入なり、略 中
字都宮里 河内郡二荒神社を云なり、今は地名をも宇都宮驛と唱ふれど、往古は池邊郷、また中

頃ハは小田橋驛ともいひしなり、略 中

衣川 鹽谷郡栗山の奥より出て、同郡佐貫の邊りにて、黒髮山より出る大谷川と落合ひ、芳賀郡

と河内郡との境を流れ、常陸下總を経て、利根川に入なり、略 中

鹽屋里 鹽谷郡氏家驛と喜連川驛との間に、五月女坂と云所なり、和名抄には、郡名にのみ鹽

屋ありて、郷名にはなし、略 中

狐川里 鹽谷郡なり、今は喜連川と改む、されど猶キツネ川と唱ふるなり、略 中

那須野 洵汰金 温泉 那須郡太田原の邊より、陸奥の國境までをなべて那須野原と云なり、其

西北の方に那須嶽と云山ありて、麓に温泉あり、其所に殺生石と云毒石あり、略 中

朽木柳 那須郡葦野驛の町はづれより、西北の方百歩許にあり、遊行柳とも云なり、猿樂の遊行

柳と云謠曲は、則此柳を作りなしたるものなり、略 中

姿川 都賀郡猪倉山より出て、末は佐野、中川と落合ひ、利根川に入なり、略 中

都賀山 都賀郡の山をさして云なり、安蘇郡の山を安蘇山といふが如し、略 中

眞岡里 芳賀郡にあり、古名芳賀郷といひし所なり、晒木綿の名所なり、略 中

庚申山 安蘇郡足尾郷赤岩と云所にあり、二子山の峯つゞきなり、日光山より西の方にあたり

て七里許あり、略 中

檀山 歌枕名寄に、下野と擧たれども、何に依て下野と定めけんおぼつかなし、略 中

八夫木和歌抄里「三十一」をやまのさと、略 中
或近江 下野 家集

紅葉せしをやまの里の戀しさにまぐれてのみもあけくらす哉、略 中

俊頼朝臣